


おおふなと

 ふれあいネットワーク

社協だより



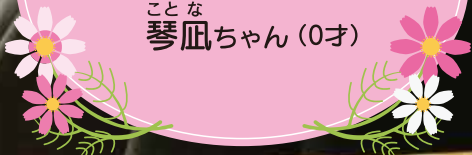
2017年 10月号

【特集】日常生活自立支援事業……………	2~3
地域みんなで祝う敬老会……………	4
上富岡ふれあいサロン……………	4
手話で学ぶコミュニケーション……………	5
赤い羽根共同募金運動スタート……………	5
お知らせ……………	6~7
輝き人……………	8



今月の表紙

ちば ゆうき はるか
千葉 優貴さん・春香さん
ことな
琴凧ちゃん(0才)





これからの生活を「住み慣れた地域で安心して暮らしたい」と多くの人たちが願っている一方で、その生活を送るにあたり不安を感じている人もいます。

内閣府が実施した調査によると約68%の方が「自分の健康や病気のこと」が不安であると回答し、そのなかでも約55%の方が「認知症」により、自立した生活が送れなくなることに不安を感じています。

認知症患者数は年々増加しており、平成37年には5人に1人が認知症になるといわれています。また、知的障がいや精神障がいを抱

える方も年々増加し、過去10年で60万人以上増えています。

社会福祉協議会では、だれもが住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう福祉サービスの利用の手続きの援助や代行、またそれに伴う金銭管理等を行う「日常生活自立支援事業」を行っています。

具体的には「介護保険関係の書類が来ているけど、どう続いたら良いか分からない」「物忘れが多くて預貯金通帳をどこに置いたかいつも心配」「計画的にお金を使いたいけどいつも迷ってしまう」などの悩みを抱えている方が利用しています。

対象者

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者で判断能力に不安がある方です。医師による認知症の診断や、療育手帳および精神障害者手帳の有無に関わらず利用できます。ただし、「契約」に基づくサービスが提供されるため、具体的な援助内容の理解が必要ですよ。

サービスの内容

1 福祉サービスの利用援助

- 福祉サービス申込、契約手続きの代行、代理
- 福祉サービスの利用料を支払う

手続き

○福祉サービスの苦情解決をするための手続き

2 日常的な金銭管理

- 年金や福祉手当などの受領に必要な手続き
- 税金や社会保険料、医療費や公共料金を支払う手続き
- 日常的な生活費の払い戻し、預け入れなどの手続き

3 書類等の預かり

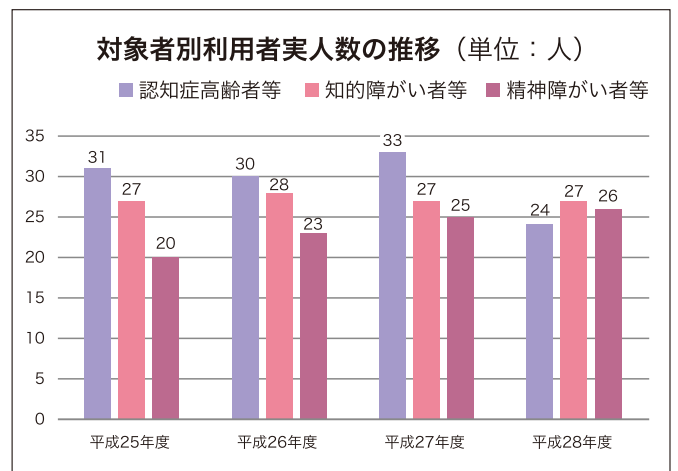
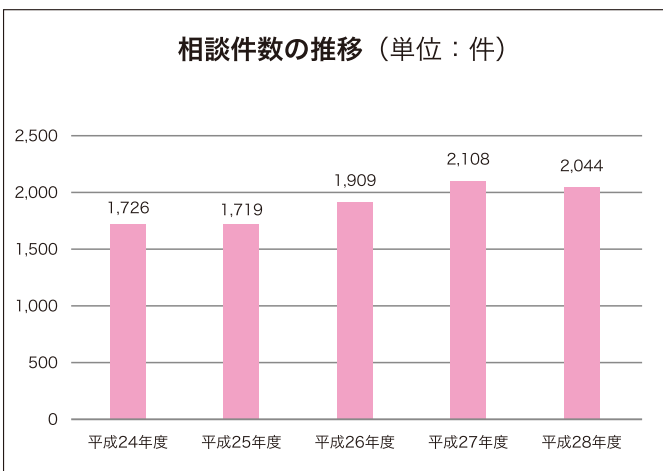
- ご本人名義の預貯金通帳、年金証書、権利証、契約書類、保険証書、印鑑

利用料金

相談や支援計画作成費用は無料です。サービス料は、1時間あたり1,300円。なお、生活保護を受けている方は無料です。



利用契約者の代わりに金融機関での入出金、支払いなども行います



事例



60代男性・知的障がい者（療育手帳B・障害者年金受給） 独居。

（契約締結までの経緯）

金銭管理をしていた母親が亡くなったあと、姉が住み込み、母の代わりを務めていたが、姉は自由にお金を使ってしまう、支払い等が滞るようになった。さらに、本人もカードローンで借入をしていた。障がいを持つ子供の関係で相談のついていた気仙障がい者就業・生活支援センターの職員が、当事業の利用



その日のうちに、利用契約者に支援内容を確認してもらいます。

を勧めた。本人も金銭管理に不安を持っていたため、利用を希望した。

（サービス利用の効果）

生活支援員による郵便物や領収書・請求書などの書類の確認、支払いや生活費の使い方のアドバイスにより、金銭管理などの生活不安は解消され、借金をすることもなくなった。現在は、B型事業所で働きながら安定した生活を続けている。

（利用契約者から）

利用契約後に姉は転居し、4人の子供（うち3人は知的障がい者）もそれぞれ独立している。当事業を利用することによって生活費の使い方や各種手続き等、心配なく生活できるので、契約して良かったと思っている。

利用までの流れ

相談受付



社会福祉協議会へご連絡ください。どなたでも構いません。相談内容はもらしません。

相談・打ち合わせ



専門員がお宅にお伺いいたします。本人の困りごとや契約意志、能力の確認をします。

支援計画の作成



困りごとについて一緒に考え、支援計画を立てます。困りごとについてお聞きします。その後、契約内容・支援計画を提案します。

契約、サービス開始



利用計画を結び、サービスが開始されます。納得いただければ、本人と社会福祉協議会とが利用契約を結びます。契約のあと、支援計画に沿って、生活支援員がサービスを提供します。



まずは、どんなことで困っているのか相談にのります。27-0001へご連絡してください。

「地域みんなで祝う敬老会」



みんなで思いを込めて丁寧に作りました。

赤崎町の放課後児童クラブ「にっこにこ浜っ子クラブ」は、毎年開催される敬老会で、対象者の方々に手作りの記念品を贈呈しています。活動を始めて10年目になる今年は、折り紙で鶴を折り、その中に飴とメッセージカードを入れた「福鶴」を贈りました。蛸ノ浦地区の分も含めて千羽作成し、欠席された方にも地区公民館の協力を得て配布されました。

高学年として作成を頑張った

清水咲良さん(小5)は「折り目をつけて曲がらないように気をつけて折りました」と話し、今野七虹さん(小5)は「来年はお花を作ってメッセージを入れて喜ばせたい」と話してくれました。

記念品を受け取った方のなかには、子どもたちの気持ち嬉しくして神棚に上げる方もいるようです。普段は交流のない近所の高齢者から声をかけられることもあり、佐野七星さん(小5)は、隣のおばあちゃんに「ありがとう」と言われてうれしかったそうです。

にっこにこ浜っ子クラブでは、敬老会以外にも地域内の介護施設利用者や納涼祭や、みづき団子づくり等交流を図っており、指導員の久保田涼子さんは「地区公民館や地域と密着した活動を今後も継続し、子どもたちに赤崎町の人たちのあたたかさや、つながりの大切さを伝えていきたい」と話します。

上富岡ふれあいサロン「せせらぎの会」



せせらぎの会の歌を皆で歌い、楽しい時間が過ぎていきます

猪川町の上富岡ふれあいサロン「せせらぎの会」は、平成18年4月に立ち上げ、今年11年目を迎えます。当時、同じ町内で先にサロンを実施していた、下富岡の世話役からの「上富岡でもやってみたらどうだろうか」という意見で、せせらぎの会が始まりました。

現在は、会員30名、準会員8名で、会費のほか、岩手県共同募金会「被災地住民支えあい活動助成」を活用し、毎月第1水

曜日に活動しています。

9月6日のサロンでは、地区公民館主催の敬老会に参加できない方も長寿を祝えるようにと、上富岡地域公民館を会場に、「敬老を祝う会」を開催。参加した会員約20名は、準備された紅白餅や料理を食べながら、楽しい時間を過ごしました。

毎月のサロンでは、誕生会と手づくり料理の振る舞いが恒例になっています。この日も、女性陣が手際よく、そうめんを茹で、薬味を刻み、賑やかに調理をしていました。「わいわい話をしながら料理をして、美味しく食べてもらうのが毎回楽しい」と台所で話してくれました。

事務局の今野祐輔さん(69)は、「10月はバスで遠野市へ行き、遠野の仮設住宅に住む被災者と交流会をする。今後も季節行事を取り入れたり、体力づくりができるようなサロンを協力しながら開催していきたい」と話してくれました。

ボランティア養成講座

手話で学ぶコミュニケーション



聴覚や口話が不自由な方々の理解を深めることを目的とし、全4回の手話教室を開催し、6人の方々が参加しました。

教室では、最初に聴覚障害の種類やコミュニケーションの方法について説明がありました。その後、自己紹介や挨拶をはじめ、仕事や大船渡市内の町名を表現する様々な手話について学びました。

今回の教室には、高校生や親子で参加する方もいました。高校3年生の澤田幸希さん(三陸



手話と指文字の違いも学びました。

町在住)は「『これからの未来』をテーマにした高校の総合授業を通して、福祉に興味を持ち、教室に参加した。手話の表現を覚えられると楽しいし、相手に自分の手話が伝わり嬉しいう将来は心理カウンセラーになりたい」と話してくれました。

閉講式では、覚えた手話を使って、参加者一人ひとりから、講師に感謝の気持ちを伝えました。

「聞こえる人も、聞こえない人も、日常的に手話を使って一緒に話ができるようになって欲しい」と話すのは、講師を務めた大船渡手話サークル「こだま」会員の佐々木さん。同じくサークル会員の川さんは「手話が少ししかわからなくても、声を掛けて欲しい。会話を通じて少しずつ手話を覚えていきましよう」とのこと。

11月14日からは、視覚障害者等へ、音声で情報を伝える「音声訳教室」を開催します。詳しくはお知らせをご覧ください。

自分のまちをよくするしくみ

赤い羽根共同募金運動スタート



10月1日、今年度の赤い羽根共同募金が全国一斉にスタートし、大船渡市共同募金委員会では2日には市内4か所(サンリア、マ

イヤ大船渡店・赤崎店・インター店)にて、街頭募金を行いました。各会場では、大船渡市地域婦人

団体連絡協議会、盛保育園、大船渡保育園、明和保育園、猪川保育園、立根保育園の皆さんが、来店した皆さんに募金の呼びかけを行い、4か所合計で196,456円の募金が寄せられました。街頭募金にご協力いただきました。



今年もあたたかい気持ちで寄せられました。

方々に、大船渡市における使い道について、尋ねてみました。

志田良子さん(83)は「東日本大震災でボランティア活動や、あたたかい気持ちで支えられ、お世話になったので、災害が起きた場合に有効に活用してほしい」、伊藤真也さん(39)は「今の住んでいる場所には公園が少なく、子どもたちが遊ばせてくても遊ぶことができず、公園整備だけでなく、子どもを安心して育てられるようなサービスマネジメントに募金を使っていたらいい」と答えてくれました。

全体的に災害対策や子どもたちへの活用を望む声が多かったほか、生活に困っている人への支援や夜間の安全な環境整備等に活用して欲しいとの声もありました。また、約7割が募金地で活用される仕組みについて、もっとアピールすべき」との運動方法についての助言もありました。寄せられた募金は、これらの要望等も参考としながら、活用方法の充実を図っていきます。

ファミリーサポートセンター=会員交流会

ファミリーサポートセンターの会員同士や新たに利用を考えている方が、地域や子育てに関する情報の情報交換を行い、相互に親睦を深めることを目的とした交流会を開催します。

日時 11月29日(水) 午後1時～3時30分

会場 大船渡市Y・Sセンター(大会議室)

受講料 800円

対象 おねがい会員、どっちも会員、あずかり会員、入会を希望する人
※お子様連れでも大丈夫です。
(お子様とご一緒の場合は申込時にお知らせください。)

内容 ①生け花(草月流)体験講座
講師 汪艶(前原汪子)氏
②交流会

定員 20名

持ち物 ①盛り花の花器(直径20cm程度、深さ10～15cm)、持っていない人は、この大きさの食器、器
②花ばさみ

締切 11月15日(水)



* 寄附受入報告

復興支援金

9月に、「復興支援金」として匿名の方からご寄附をいただきました。コミュニティの再形成を支援する事業に活用します。ありがとうございました。

* ボランティア情報

ボランティア養成講座(音声訳教室)

視覚に障害のある人のために、文字を音声に訳して伝える活動を学ぶための教室です。

日時 11月14日、21日、28日(いずれも火曜日) 午後7時～9時

会場 大船渡市総合福祉センター(図書室)

受講料 無料

定員 15名

* 岩手県福祉人材センター情報

介護技術おさらい講習

介護福祉士や訪問介護員などの有資格者に限らず、介護職に従事した経験のある方、離職したが再就職を考えている方を対象に、求人動向や最新の介護技術講習を実施します。

日時 10月23日(月) 午後1時30分～4時30分

会場 大船渡市総合福祉センター(大会議室)

受講料 無料

定員 20名

「募集」「イベント」「お知らせ」など暮らしに役立つ情報をお届けします。



申込・問い合わせ先 大船渡市社会福祉協議会
電話 0192(27)0001(代表)

* 支えあいまちづくり事業情報

陽だまりサロン

誰でも参加できるサロンです。ご近所お誘いあわせの上、お近くのサロンへお越しください。

時間 午前10時～正午(猪川地区公民館でのサロンは午後1時まで)

内容 血圧測定、軽体操、ゲーム、手芸、お茶っこなど

陽だまりサロン日程(11月)

開催日	会場
8日(水)	崎浜公民館 鷹生公民館
10日(金)	吉浜地区拠点センター
14日(火)	碁石コミュニティセンター
17日(金)	下中井公民館
22日(水)	崎浜公民館
24日(金)	綾姫ホール
28日(火)	猪川地区公民館



* 子育て関連情報

おでかけひろば



子育て親子の交流の場です。リアスホールでの「おでかけひろば」は、慢性疾患、発達障害等で自宅療養中のお子さんと家族が対象です。

時間 午前10時～正午(大船渡地区公民館での「おでかけひろば」は、午後1時30分～3時30分)

おでかけひろば日程(11月)

開催日	会場
4日(土)	居場所ハウス
14日(火)	大船渡地区公民館
15日(水)	リアスホール
22日(水)	カリタス大船渡 地ノ森いこいの家

*老人クラブ情報

大船渡市老人クラブ大会

会員相互の連帯の輪をさらに広げ、「より健康で心豊かな生活を目指す活動と「地域づくりを担う活動」の推進を目指し、大船渡市老人クラブ大会を開催します。会員以外の方も参加することができます。

日時 10月23日(月) 受付は正午から
(第1部) 式典 午後1時~2時
(第2部) 演芸発表会
午後2時10分~4時10分

会場 大船渡市民文化会館「リアスホール」

問い合わせ先

大船渡市老人クラブ連合会・西村さん
電話 (27) 0001



介護のしごと相談

キャリア支援員が福祉の職場に就職したい方などの相談に応じます。相談は、事前予約の方を優先します。

介護のしごと相談(11月)

開催日	会場	時間
6日(月)	Y・Sセンター	午前 9時~午後4時
9日(木)	ハローワーク	午前10時~正午
13日(月)	Y・Sセンター	午前 9時~午後4時
20日(月)	Y・Sセンター	午前 9時~午後4時
27日(月)	Y・Sセンター	午前 9時~午後4時
30日(木)	ハローワーク	午前10時~正午

申込・問い合わせ先

岩手県福祉人材センター・坂本さん
電話 080-8201-0200

*出会い支援事業情報 出会い支援事業第2弾「しあわせ・どっと・こむ」

りんご狩りやブドウ畑を見学し、ワイナリーで試飲を楽しみながら秋の出会いを探してみませんか。

日時 11月11日(土) 午後1時~7時

会場 箱根山テラス他

参加費 4,000円(女性は、2人以上で申し込み、または、10月25日までの早期申込みで1人2,000円)

定員 25歳から49歳までの独身男女各15人(男性は気仙地域を優先、申し込み多数の場合は抽選を行います。)

申込方法 QRコードを読み取り、申込フォームから申し込む
※電話、来所による受付は致しません。

締切 10月31日(火)



今月の表紙

千葉 優貴さん
春香さん
琴 凧ちゃん
(0才)
(盛町在住)

9月15日に生まれたばかりの琴凧ちゃん。名前の音の響きはお母さんが、漢字はお父さんが付けてくれました。



お父さん・お母さんから琴凧ちゃんへ「生まれてきてくれてありがとう」

- 11月号課題「雑詠」
- 締め切り
11月2日(木) **必着**。
1人1句。
(自信作をひとつ)
はがき使用。
- 投句先
立根町字下欠125-12
「Y・Sセンター」内
大船渡市
社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
- その他
作品によっては、
添削する場合があります。投句者の氏名にはフリガナをつけてください。

「ふくし川柳」 課題「遊ぶ」 富谷英雄 選

微笑んで見上げて遊ぶ孫の顔
痛くても遊ぶ心の良薬に
今の子の遊び相手はスマホだけ
遊ぶ子の声なき郷の森静か

遊びには 人生の味 あふれ出る
越・平田 榮夫

吉・千葉 元子
大・吉田 國子
立・安居 信子
日・佐藤アサ子

(評)遊びにもいろいろあるが、特に著名人の「粋のいい遊び」は、それこそ「人生の味」が出て来るもので、素人の私でも羨ましいと思う遊びもある。

輝き人

かま た しほこ
鎌 田 志穂子 さん (44 歳)

Sun陸リアススポーツクラブ運営委員として活動をサポートしながら、地域スポーツコーディネーターとして仮設住宅などで体操指導にあたる。公認アシスタントマネージャー。日本矯体療術師協会療術師。三陸町綾里在住。



みんなの人生・挑戦を応援したい！

●Sun陸リアス スポーツクラブとの出会い

子どもから高齢者まで、気軽に運動や文化活動を楽しめる環境を提供しようと、平成24年に綾里地区を拠点としてSun陸リアススポーツクラブが設立されました。私も運営委員として、微力ながら協力し、みなさんと一緒に楽しんでいます。その他に地域スポーツコーディネーターとして仮設住宅で運動指導の機会をいただきました。

●第3の学びの場

クラブでは、とにかくスポーツに興味を持ってもらいたい一心でニュースポーツや、この辺りでは体験出来ないような様々な教室を開催しています。なかには、体を動かすことが苦手な

子どもいますが、教室を通して楽しい表情を浮かべる時が最高の幸せです。運動能力を伸ばす以外にも、高学年が低学年をサポートするなど、学年を超えて積極的に関わり、お互いの役割を持ちながら行動できるような、学校や家庭にはない第3の学びの場にしたとと考えています。

●世代間問わず大切なこと

子どもたちだけでなく、高齢者も対象として、第1、第3木曜日の月2回運動教室を開いています。最初は体力を維持できるぐらいの怪我をしないような軽体操などを取り入れてきましたが、参加者からの要望もあり、ミニバレーボールに挑戦。回を重ねるごとに機敏になっていく参加者の変化に驚かされると同

時に、出来るかどうか判断するだけでなく、どうすれば潜在している力を引き出せるか、視点を変えて考えることの大切さを感じています。

●楽しい人生を広げたい

これまで体操指導をやらせていただくなかで、みんなが集まり、笑顔で話かたりする時間を大事にしたいと常に感じてきました。何歳になっても痛いところがあれば何でも出来るはず。そんなみなさんの健康づくりを応援したい気持ちもあって、最近全体の療術師の資格を取りました。少しでも自分の知識が役に立ち、楽しい人生の手助けができたらうれしいですね。



見つけて
Happy

今月の社協だよりの中にさまざまなコスモスがありますが、1輪だけ違う色(模様)があります。さて、何ページにあるでしょうか。さがしてみてくださいね！